

## 平成18年度予算編成

下の表は本校の18年度予算執行方針に基づいて編成した予算です。昨年以上に裁量枠が拡大し予算編成の自由度はましましたが、17年度比100万円以上の減額となり、学用器具費(備品購入費)への圧迫が大きくなっています。学校割分の配当額が市内肢体養護学校4校同額のため、最も規模の大きな本校は特に厳しい財政状況になっていると考えられます。

### <予算編成の考え方>

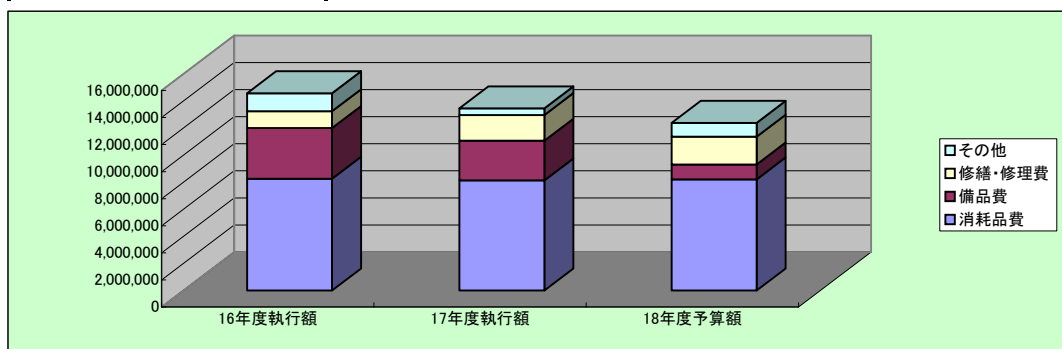
- 報償費には、個人情報管理研修、ボランティアの充実分を含めて、昨年度実績に10万円上乗せしました。
  - 消耗品費は、子どもの学習・生活を支える予算であり、昨年度実績を確保しています。また、防災備蓄品予算の更新分を計上しています。
  - 学用器具費等については、消耗品費、修繕料等の予算を大幅に増額せざるを得ないため、当初配当額から減額した予算額としています。
- ※ 学用器具費の編成額は、耐用年数を向かえているコピー機の更新さえできない金額になっているため、今後管理用消耗品費等の大幅な節減が課題となっています。

事業名	費目	当初配当額	予算編成額
学校運営振興費 (※燃料費のみ流用不可)	報償費	527,000	450,000
	消耗品費	5,876,000	8,212,000
	燃料費※	0	0
	食糧費	66,000	66,000
	印刷製本費	393,000	100,000
	修繕料	478,000	500,000
	通信運搬費	80,000	10,000
	手数料	102,000	130,000
	使用料および賃借料	120,000	100,000
	学用器具費	3,502,000	1,100,000
	図書費	398,000	150,000
	負担金等	20,000	20,000
	小破修繕(建物・備品)	修繕料	726,000
小破修繕(校地)	修繕料	100,000	50,000
合計		12,388,000	12,388,000

裁  
量  
枠  
内  
予  
算

### 配当予算の推移と費目別執行額

	16年度執行額	17年度執行額	18年度予算額
消耗品費	8,261,917	8,134,243	8,212,000
備品費	3,739,404	2,938,675	1,100,000
修繕・修理費	1,243,095	1,895,376	2,050,000
その他	1,330,843	486,953	1,026,000
執行額合計	14,575,259	13,455,247	12,388,000



- 消耗品費等、経常経費は、節減努力をしてきたが、生徒数増もあり増加傾向となっている。
- 半面、備品費等の整備拡充のための費用が、配当予算の減額に伴って縮減している。
- 備品費等は、教育条件の向上に必要な経費であり、このままでは、備品や設備の老朽化にさえ対応できない状況になる。